

## 日吉子どもサミット

(大津市立日吉中学校、延暦寺学園比叡山中学校、  
大津市立雄琴小学校、大津市立坂本小学校、  
大津市立下阪本小学校、大津市立日吉台小学校)

令和2年度  
エコ・スクール活動報告書

### 活動テーマ

## 安心・安全な生活環境の構築 ～居心地のよい学校づくりを目指して～

### 実践事例について

日吉中学校区内には4小学校2中学校(1校は私立)がある。この6つの学校の児童会・生徒会で構成された日吉子どもサミットが中心となり、6小中学校が共同で参加し、実践している地域の環境保全活動がある。日吉台学区は「花の街づくり」、下阪本学区は「下阪本クリーン作戦」、坂本学区は「坂本ふるさと大掃除」、雄琴学区は「雄琴ヨシ刈り」が各学区メインの活動である。特に、琵琶湖周辺に位置する下阪本と雄琴の活動の際には、シジミやフナの稚魚の放流が行われている。さらに、そういった水生生物が生息できる環境になっているかを検証するために、地域の河川の水質調査も実施している。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により様々な活動内容を再検討する年となった。

### 1. 「日吉子どもサミット」について

日吉子どもサミットは、平成2年に日吉ブロックの4小学校2中学校の児童会・生徒会の子どもたちがリーダー研修の場として集まり、何か一緒にできることはないかと考え、結成された。日吉子どもサミットの活動を通じて自分の意見を述べたり、行事を企画・運営したり、地域ボランティアに取り組むなど、社会性を育むことが目的である。

最近では地域の安全マップを作り、子ども目線での地域の課題を地域の方々に発信し交流することで自分たちの暮らす地域をよりよくする活動につなげてきた。今までの「アルミ缶回収」や「地域ボランティア」に継続して取り組む上で、「吉鳥のPR」などの広報活動をさらに強化し、多くの児童・生徒と一緒に活動できるように考えている。



\*今年度については、2年前より取り組みを始めた、地域の「安全」と「環境」について活動を深めていこうと考えた。さらに地域の環境だけでなく学校での安心・安全な生活環境という部分にも焦点を当て、各校の実状に応じて、取り組みを工夫した。

また上記の実践事例にも挙げたように、日吉ブロックには学区ごとに何年も続く環境保全の取り組みがある。まず地域の方々と共に、その活動や地域の行事などについてももう一度見直し、「自分たちの住む地域をどんなふうにしていきたいか」、「そのためにどんな参加の仕方ができるか」などについて、地域の活動の歴史やその意味を学ぶ。それらを理解した上で、自分たちにできることを実際に行動につなげていくことができるよう、健康的な生活環境も含めて地域の方々と共にグループ協議を行い、意見交流を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の観点から、中止せざるをえなかった。



### 2. 今年度の活動テーマと基本方針

・活動テーマ：安心・安全な生活環境の構築  
～居心地のよい学校づくりを目指して～

・基本方針：

- ①日吉ブロックの児童会、生徒会の児童生徒がボランティア活動を通して友好を深め、地域内のリーダーとして活躍できる場とする。
- ②サミット会議を開き各校の活動を交流することで互いの活動を理解し、よりよいところを吸収し、各校の学校づくりに生かす。

### 3. 今年度の活動内容

#### \*実施状況\*

- 年間2回の合同会議
  - ・7月8日 (司会：日吉台小学校)
  - ・1月19日 …中止
- ◇各校での取り組み紹介・交流
- ◇グループ別討論会



●アルミ缶回収（通年）

- ・各校分担に従って4月～翌年3月までアルミ缶を回収し、リサイクル業者に出して換金する。
- ・収益金については半額をユニセフに寄付、残りの半額をコロナに関わって役立ててもらえる団体へ寄付をしよう、と第1回のサミットで決定した。  
「吉鳥」のキャラクターも使い、活動を浸透させている。
- ・2学期中頃「日吉子どもサミット新聞」発行し、9月末現在の回収状況のお知らせをした。



●下阪本クリーン作戦（12月5日）

- ・下阪本小学校、日吉中学校の児童生徒が、地域の方々と琵琶湖岸の清掃活動を実施し、シジミの放流も行う。



●坂本ふるさと大そうじ（12月24日）

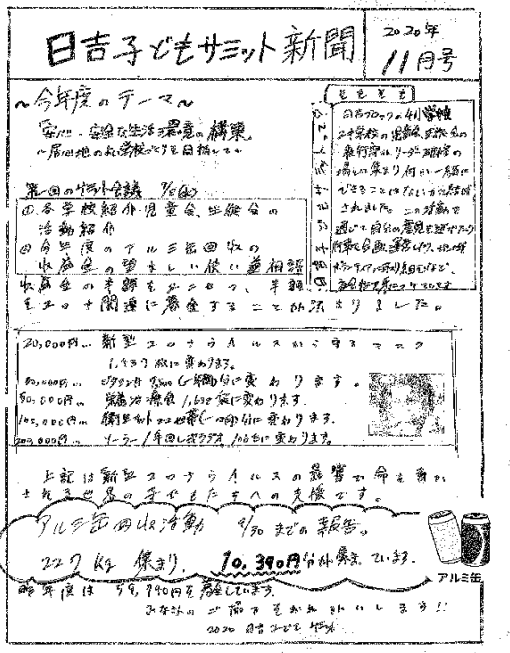
- ・日吉大社参道の清掃活動を、坂本小学校、比叡山中学校、日吉中学校の児童生徒を中心に地域の方々と協力して行う。



●雄琴ヨシ刈り・フナ放流（1月31日）

⇒今年度は中止

- ・雄琴小学校、日吉中学校、地域の方々や企業のボランティアと協力して、ヨシ刈り・フナ放流を行う。



\*各校の取り組み\*

○日吉台小学校【花の街づくりに向けては実施不可】

- ・ポスター掲示
- ・教室に行き説明する
- ・前日に放送で呼びかける  
〈何をするのかなどのクイズを出す〉
- ・アルミ缶回収
- ・ベルマーク回収

○下阪本小学校【下阪本クリーン作戦に向けて】

- ・各クラスにポスターを作成し掲示、全児童にプリント配布
- ・代表委員会での周知
- ・各戸および地域へのお知らせ作成と配布
- ・「ハッピータイムズ」（広報新聞）の記事にして各クラスで掲示
- ・校内放送2回実施（給食時）



○人権を考える大津市民の集い

秋の集会：パネルディスカッション(収録)

春の集会：本年度は中止

○日吉子どもサミット30周年紀要作成スタート

●日吉台花の街づくり（6月13日/11月14日）

⇒今年度は中止

- ・日吉台小学校、日吉中学校を中心に地域の方々と協力して日吉台学区入り口、市民センター前、小学校前に季節の花を植える。その後の草引き等の手入れも実施。
- ・今年度は児童の参加を見合わせ、場所毎に地域で実施

### ○雄琴小学校

【雄琴ヨシ刈り】に向けて

- ・社会科と

総合的な学習の時間  
の積み重ね

4年 水環境とヨシについての学習

5年 湖上からヨシを観察— カヌーでヨシ原  
探検・フローティングスクール

6年 ヨシランプの製作



- ・毎年恒例の地域の方との協議会は、大勢が集まり、一緒に食事をいただくことは断念した。しかし、感染拡大防止に配慮しながら学区の児童会生徒会のメンバーが対面して、よりよい日吉学区のために意見を交流できたことが、今年が一番の成果であった。
- ・年間を通じて、今まで取り組んでこられたアルミ缶回収活動の取り組みの継続を行った。

### ○坂本小学校【坂本ふるさと大掃除】に向けて

- ・企画 JRC 委員会 CM の作成と放送
- ・朝の放送やポスターで告知

### ○比叡山中学校

- ・坂本ふるさと大掃除への参加
- ・ボランティア委員による雑巾づくり  
真盛園へ贈呈

### ○日吉中学校

- ・駅前に花を飾ろう運動  
【大津市企業局と連携し浄水発生土を使用】  
(坂本駅前にプランター設置)



- ・環境保全活動への参加と呼びかけ  
(ポスターや放送等の広報活動の強化、  
誘い合い運動)
- ・「私の COOL CHOICE 宣言」参加  
【FMおおつと連携】
- ・日吉ブロック自主防犯協議会の看板制作  
(美術部)
- ・地域河川の水質調査 (科学部)

## 4. 成果と課題

#### \*成果\*

- ・本年度は、新型コロナウイルスに左右された1年であった。サミットとしてどんな活動ができるのか、今のこの時期だからこそできることは何かなど、30年の節目として活動内容を精査するよい機会となった。

#### \*現在の課題\*

- ・この取り組みは児童生徒が対面して、意見交流することが大きなねらいであるが、今後はオンライン会議などICTを活用した方法を模索していく必要がある。
- ・今回のコロナウィルスの影響で、飲み終わったアルミ缶を扱うことや換金率の低下など、今までと同じように活動を続けることが難しくなっている。

(以下、各校の生徒から集約した主な意見)

#### 【アルミ缶回収活動について】

- ・発端の活動であるため継続することを前提
- ・時期：通年実施
- ・サミット合同回収日の設定
- ・回収場所：各学校、支所
- ・広報：ポスター制作、掲示場所の工夫、洗ってもらうことの徹底  
学校便り等を利用した地域への広報
- ・コロナ対策：  
回収ボックスの中に二重の袋を設置  
アルミ缶に触れないように袋ごと回収  
ビニール手袋の着用
- ・使途：コロナ対策支援金、ユニセフへ募金  
学校がよりよくなるための利用

- ・地域への様々なボランティア活動や行事などの参加の方法、取り組みについて検討する必要がある。

(以下、エコ・スクール委員会メンバーより集約した主な意見)

#### 【地域へのボランティア活動】

- ・感染防止対策をどのように行うのか
- ・子どもが自ら参加したいと思える魅力ある活動にするには何が必要か

#### \*今後の展開と方向性\*

- ・各校での児童生徒会の取り組み紹介
- ・サミット会議の実施方法の検討
- ・30周年記念事業実施(令和3年8月24日予定)
- ・新しい学校生活様式に配慮した取り組み内容の検討

学校名	大津市立日吉中学校
住所	大津市下阪本6丁目38-26
電話番号	077-578-0056
E-mail	hiyosi@otsu.ed.jp